

民法の一部を改正する法律の施行に伴う教育委員会規則の整備について

令和2年2月28日
企画管理室・学校支援課・学校教育課

1. 概要

民法の一部を改正する法律の施行（令和2年4月1日）により、全ての個人根保証契約（※1）について極度額（※2）の設定が義務化されることに伴い、「極度額の定めのない個人根保証契約」に相当する「誓約書（※3）」の位置付けとその記載内容について、所要の変更を行うもの。

- （※1） 将来発生する不特定の債務を保証するもので、個人を保証人とするもの。
- （※2） 保証の上限額のこと。
- （※3） 高等学校及び特別支援学校高等部入学時に徴求するもの。
[根拠規則：奈良県立高等学校等の管理運営に関する規則第30条]
高等学校総合寄宿舍入寮時に徴求するもの
[根拠規則：奈良県立高等学校総合寄宿舍管理運営規則第9条]

2. 法改正内容

- （1） 個人根保証契約の保証人の責任等の見直し [改正後民法第465条の2]
 - ・ 個人根保証契約について、保証人の保護の拡充の観点から、保証人が予想を超える過大な責任を負わないようにするため、全ての個人根保証契約について極度額の設定を義務付け、極度額の設定のない契約は無効とする。
- （2） 身元保証契約 [根拠法：身元保証ニ関スル法律] に与える影響
 - ・ 労働者の行為により使用者が受ける損害の保証等を目的とした契約
 - ・ 条文上の手当てはされていないが、今回の民法改正の趣旨を踏まえ、個人根保証に関する規定が類推適用されると解される。

3. 現行の誓約書の位置付け

- （1） **前半** 本人（＝生徒）の身上に関する一切の責任を引き受ける。
 - ・ 訓示規定：保証人（原則親権者）としての役割と責任の確認
 - ・ 身元保証契約：在学中に生じた損害賠償債務（例：学校備品の弁償）の保証
 - （2） **後半** 在学中（在寮中）に生じた債務について、本人が履行しない場合は、保証人が履行する。
 - ・ 極度額の定めのない個人根保証契約
：入学料、授業料、寄宿舍使用料及びこれら以外の諸費用の納付の保証
- ⇒ 2.（2）の解釈から、誓約書全体が「極度額の定めのない個人根保証契約」に相当するため、改正法施行日までに以下のいずれかの対応が必要となる。
- ① 極度額を設定し「個人根保証契約」の役割を維持する。
 - ② 債務の範囲及び額を特定し、「特定債務保証契約」に変更する。
 - ③ 「保証人に対する訓示規定（法的拘束力なし）」と位置付ける。
 - ④ 誓約書を廃止する。

4. 誓約書の改正内容

(1) 基本的な考え方

- ・適正な債権管理の観点から、法的な可能な範囲で誓約書に「保証契約」としての役割を残す方針とする。

(2) 法改正後の誓約書の位置付け等

	位置付け		考え方
	変更前	変更後	
前半部分	保証人の役割と責任を確認する「訓示規定」 損害賠償債務等を保証する「身元保証契約」	保証人の役割と責任を確認する「訓示規定」	・身元保証契約が想定する「損害賠償債務」については、在学中に当該債務が生じるか不確定であり、入学時点での極度額設定、債務の特定のいずれも困難であることから、保証契約の役割を外し、訓示規定に含めるものとする。
後半部分	在学中(在寮中)に生じた債務の履行を保証する「極度額の定めのない個人根保証契約」	入学料及び授業料(総合寄宿舍においては使用料)の納付を保証する「特定債務保証契約」	・諸費用については、 ① 学校により名称が異なること。 ② 学校・学科により在学中に生じる諸費用の額に相当の差があること。 ③ 在学中に入学時の想定から必要費用や額が変更となる可能性があること。 から、入学時点での極度額設定、債務の特定のいずれも困難であるため、条例により債務の範囲と額が特定可能な入学料、授業料及び寄宿舍使用料の納付の保証のみとする。 ・なお、諸費用の納付の保証については、前半部分の訓示規定に含むと整理する。

(3) 変更後の誓約書の形式について

- ① 誓約書の形式：前半部分と後半部分を分離し、2枚の誓約書とする。
(特別支援学校高等部については、1枚目のみ徴求)

1枚目：本人の身上に関する一切の責任を引き受ける。
2枚目：在学中(在寮中)に生じた入学料及び授業料(使用料)の納付について、本人が納付しない場合は、保証人が履行する。
[債務の範囲と額を特定するため、根拠条例の名称と条項を記載]

② 誓約書を分離する理由

- ・県教委の整理にかかわらず、法的には前半部分が「個人根保証契約に相当するもの」と解される可能性がある。その場合、誓約書全体が「極度額の定めがない個人根保証契約」であるとして、全体の極度額の設定がないことにより、後半部分の保証規定の効力まで否定されるおそれがあるため。

5. 施行期日等

改正法施行日と同じ令和2年4月1日施行とし、令和2年度入学生から新しい書式の誓約書を徴求する。

なお、改正法施行前に締結された保証契約は旧法の規定が適用されることから、令和2年3月末時点の在校生から誓約書を徴求し直す必要はない。

<参考資料1-1> 現行誓約書（高等学校及び特別支援学校入学時）

○ 前半部分：生徒の身上に関する一切の責任の引き受け

【位置付け：身元保証契約（損害賠償債務保証等）＋保証人の役割と責任を確認する「訓示規定」】

後半部分：在学中に生じた債務の保証

【位置付け：極度額の定めのない個人根保証契約】

<p>誓 約 書</p> <p>奈良県立何学校長 殿</p> <p>私は、在学中諸規則を堅く守り学業に専念します。</p> <p>年 月 日</p> <p style="text-align: right;">科第 学年・年次 生徒氏名</p> <p>上記の者の身上に関する一切の責任について引受け、在学中に生じた債務について、本人が履行しない場合は、保証人が履行します。</p> <p>年 月 日</p> <p style="text-align: right;">保証人 現住所 本人との関係 氏 名 印</p>

注 保証人、親権者又は未成年後見人とします。ただし、生徒が未成年者である場合は、この限りではありません。

備考 用紙の大きさは、日本工業企画A列4番縦型とする。

<参考資料1-2> 改正後誓約書（高等学校及び特別支援学校高等部入学時）

○1枚目：生徒の身上に関する一切の責任の引き受け
【位置付け：保証人の役割と責任を確認する「訓示規定」】

○2枚目：条例に規定のある入学料及び授業料の納付の保証
【位置付け：特定債務保証契約】

誓 約 書	
奈良県立何学校長 殿	
私は、在学中諸規則を堅く守り学業に専念します。	
年 月 日	
	科第 学年・年次 生徒氏名
上記の者の身上に関する一切の責任について引き受けます。	
年 月 日	
	保証人 現住所 本人との関係 氏 名 印

誓 約 書	
奈良県立何学校長 殿	
生徒氏名	
上記の者の在学中に生じた入学料（奈良県立学校における授業料等に関する条例（昭和28年3月奈良県条例第9号）第7条に規定する額）及び授業料（同条例第2条に規定する額）の納付について、本人が履行しない場合は、保証人が履行します。	
年 月 日	
	保証人 現住所 本人との関係 氏 名 印

注 保証人、親権者又は未成年後見人としします。ただし、生徒が未成年者である場合は、この限りではありません。
備考 用紙の大きさは、日本産業企画A列4番縦型とする。

注 保証人、親権者又は未成年後見人としします。ただし、生徒が未成年者である場合は、この限りではありません。
備考 用紙の大きさは、日本産業企画A列4番縦型とする。

<参考資料2-1> 現行誓約書（総合寄宿舍入寮時）

○ 前半部分：入寮者の身上に関する一切の責任の引き受け

【位置付け：身元保証契約（損害賠償債務保証等）＋保証人の役割と責任を確認する「訓示規定」】

後半部分：在寮中に生じた債務の保証

【位置付け：極度額の定めのない個人根保証契約】

誓 約 書

奈良県立高等学校総合寄宿舍 寮長殿

在寮中は、諸規則を守り秩序ある共同生活をすることを約束
します。

年 月 日

在学高等学校名
学科及び学年
氏 名



上記の者の身上に関する一切について引受け、在学中に生じ
た債務について、本人が履行しない場合は、私が代って履行し
ます。

年 月 日

保証人住所
氏 名



<参考資料2-2> 改正後誓約書（総合寄宿舍入寮時）

- 1 枚目：入寮者の身上に関する一切の責任の引き受け
【位置付け：保証人の役割と責任を確認する「訓示規定」】

誓 約 書	
奈良県立高等学校総合寄宿舍 寮長殿	
在寮中は、諸規則を守り秩序ある共同生活をすることを約束 します。	
年 月 日	
在学高等学校名 学科及び学年 氏 名	印
上記の者の身上に関する一切の責任について引受けます。	
年 月 日	
保証人住所 氏 名	印

- 2 枚目：条例に規定のある使用料の納付の保証
【位置付け：特定債務保証契約】

誓 約 書	
奈良県立高等学校総合寄宿舍 寮長殿	
寮生氏名	
上記の者の在寮中に生じた使用料（奈良県立高等学校総合寄 宿舍条例（昭和56年3月奈良県条例第32号）第4条に規定する 額）の納付について、本人が履行しない場合は、保証人が履行 します。	
年 月 日	
保証人住所 氏 名	印

規 則 名	理 由	要 旨
<p>奈良県立高等学校等の管理運営に関する規則及び奈良県立高等学校総合寄宿舍管理運営の一部を改正する規則</p>	<p>民法の一部を改正する法律の施行により、全ての個人根保証契約について極度額の設定が義務付けられることから、高等学校、特別支援学校高等部の入学時及び高等学校総合寄宿舍の入寮時に生徒及び保証人から提出を受ける誓約書の様式を変更するため、所要の改正をしようとするものである。</p>	<p>1 奈良県立高等学校等の管理運営に関する規則の一部改正</p> <p>(1) 誓約書の様式変更</p> <p>「極度額の定めのない個人根保証契約」に相当する現行の誓約書を、「①生徒の身上に関する一切の責任の引受け」と「②入学料及び授業料の納付の保証」の2枚に分割し、②については、奈良県立学校における授業料に関する条例により誓約書締結時に債務の範囲と額の特定が可能なることから「特定債務保証契約」と位置付け、①については、誓約書締結時点で極度額の設定、債務の範囲と額の特定のいずれも困難であることから、保証契約としての役割を外し、「保証人（原則親権者）の責任と役割を明確にするための訓示規定」と位置付ける。</p> <p>（第30条関係、第12号様式関係、第13号様式関係）</p> <p>(2) その他所要の規定の整備を行う。</p> <p>2 奈良県立高等学校総合寄宿舍管理運営規則の一部改正</p> <p>(1) 誓約書の様式変更</p> <p>「極度額の定めのない個人根保証契約」に相当する現行の誓約書を、「①入寮者の身上に関する一切の引受け」、「②使用料の納付の保証」の2枚に分割し、②については、奈良県立高等学校総合寄宿舍条例により誓約書締結時点で債務の範囲と額の特定が可能なることから「特定債務保証契約」と位置付け、①については、誓約書締結時点で極度額の設定、債務の範囲と額の特定のいずれも困難であることから、保証契約としての役割を外し、「保証人（原則親権者）の責任と役割を明確にするための訓示規定」と位置付ける。</p> <p>（第30条関係、第12号様式関係、第13号様式関係）</p>

結時点で極度額の設定、債務の範囲及び額の特定のいずれも困難であることから、個人根保証契約としての役割を外し、「保証人の責任と役割を明確にするための訓示規定」と位置付ける。

(第9条関係、第2号様式関係)

(2) その他所要の規定の整備を行う。

3 施行期日

令和2年4月1日から施行する。

(改正附則関係)

奈良県立高等学校等の管理運営に関する規則及び奈良県立高等学校総合寄宿舎管理運営規則の一部を改正する規則（案）

（奈良県立高等学校等の管理運営に関する規則の一部改正）

第一条 奈良県立高等学校等の管理運営に関する規則（昭和三十一年十一月奈良県教育委員会規則第八号）の一部を次のように改正する。

第三十条第一項中「（特別支援学校の高等部を含む。）」を削り、「第十二号様式」の下に「及び第十三号様式」を加え、同条中第二項を第三項とし、第一項の次に次の一項を加える。

2 特別支援学校の高等部の校長は、生徒の入学を許可したときは第十二号様式による誓約書を提出させなければならない。

第一号様式の二から第七号様式まで、第九号様式、第十号様式、第十一号様式の二から第十一号様式の七までの規定中「日本工業規格」を「日本産業規格」に改める。

第十二号様式中「引受け、在学中に生じた債務について、本人が履行しない場合は、保証人が履行します」を「引受けせず」「ひ」「日本工業規格」を「日本産業規格」に改め、同様式の次に次の一様式を加える。

誓 約 書

奈良県立何学校長殿

生徒氏名

上記の者の在学中に生じた入学科 (奈良県立
学校における授業料等に関する条例 (昭和28年
3月奈良県条例第9号) 第7条に規定する額)
及び授業料 (同条例第2条に規定する額) の納
付について、本人が履行しない場合は、保証人
が履行します。

年 月 日

保証人 現住所

本人との関係

氏 名



注 保証人は、親権者又は未成年後見人とします。ただし、生徒が成年者である場合は、
この限りではありません。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

(奈良県立高等学校総合寄宿舎管理運営規則の一部改正)

第二条 奈良県立高等学校総合寄宿舎管理運営規則（昭和五十六年三月奈良県教育委員会規則第七号）の一部を次のように改正する。

第九条第一項中「第二号様式」の下に「及び第二号様式の二」を加える。

第二号様式中「一切について引受け、在学中に生じた債務について、本人が履行しない場合は、私が代って履行します」を「一切の責任について引き受けます」に改め、同様式の次に次の一様式を加える。

誓 約 書

奈良県立高等学校総合寄宿舎 寮長殿

寮生氏名

上記の者の在寮中に生じた使用料（奈良県立高等学校
総合寄宿舎条例（昭和56年3月奈良県条例第32号）第4
条に規定する額）の納付について、本人が履行しない場
合は、保証人が履行します。

年 月 日

保証人住所

氏 名



附 則

この規則は、令和二年四月一日から施行する。

奈良県立高等学校等の管理運営に関する規則及び奈良県立高等学校総合寄宿舎管理運営規則の一部を改正する規則（案）新旧対照表

一 奈良県立高等学校等の管理運営に関する規則の一部改正（第一条関係）

改 正 案	現 行
<p>（誓約書）</p> <p>第三十条 高等学校の校長は、生徒の入学を許可したときは第十二号様式及び第十三号様式による誓約書を提出させなければならない。</p> <p>2 特別支援学校の高等部の校長は、生徒の入学を許可したときは第十二号様式による誓約書を提出させなければならない。</p> <p>3 略</p>	<p>（誓約書）</p> <p>第三十条 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）の校長は、生徒の入学を許可したときは第十二号様式による誓約書を提出させなければならない。</p> <p>2 略</p>

現 行

改 正 後

第1号様式の2（第9条の2関係）

第1号様式の2（第9条の2関係）

第 号
年 月 日

第 号
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県立何学校長 氏 名 印

奈良県立何学校長 氏 名 印

学期の区分について（届）

学期の区分について（届）

下記のとおり学年を二学期に分けたいので届出します。

下記のとおり学年を二学期に分けたいので届出します。

記

記

- 1 必要とする理由
- 2 学期の区分
前期 4月 1日から 月 日まで
後期 月 日から 3月31日まで
- 3 その他参考となる事項

- 1 必要とする理由
- 2 学期の区分
前期 4月 1日から 月 日まで
後期 月 日から 3月31日まで
- 3 その他参考となる事項

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

現 行

改 正 後

第2号様式（第10条関係）

第2号様式（第10条関係）

第 号
年 月 日

第 号
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県立何学校長 氏 名 印

奈良県立何学校長 氏 名 印

休業の実施について（届）

休業の実施について（届）

下記により休業するので届出します。

下記により休業するので届出します。

記

記

- 1 必要とする事由
- 2 期日又は期間
- 3 休業を必要とする課程、学科及び学年・年次
- 4 その他参考となる事項

- 1 必要とする事由
- 2 期日又は期間
- 3 休業を必要とする課程、学科及び学年・年次
- 4 その他参考となる事項

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

現 行

改 正 後

第2号様式の2（第10条関係）

第2号様式の2（第10条関係）

第 号
年 月 日

第 号
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県立何学校長 氏 名 印

奈良県立何学校長 氏 名 印

休業日の変更について（届）

休業日の変更について（届）

下記により休業日を変更するので届出します。

下記により休業日を変更するので届出します。

記

記

1 変更する休業日とその期間

1 変更する休業日とその期間

夏期休業日 7月21日～8月31日→ 月 日～ 月 日・変更なし

夏期休業日 7月21日～8月31日→ 月 日～ 月 日・変更なし

冬期休業日 12月24日～1月 6日→ 月 日～ 月 日・変更なし

冬期休業日 12月24日～1月 6日→ 月 日～ 月 日・変更なし

春季休業日 3月21日～4月 7日→ 月 日～ 月 日・変更なし

春季休業日 3月21日～4月 7日→ 月 日～ 月 日・変更なし

新たな休業日 月 日～ 月 日・設定しない

新たな休業日 月 日～ 月 日・設定しない

2 変更の理由

2 変更の理由

3 その他参考となる事項

3 その他参考となる事項

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

現 行

改 正 後

第2号様式の3（第11条関係）

第2号様式の2（第11条関係）

第 年 月 日 号

第 年 月 日 号

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県立何学校長 氏 名 印

奈良県立何学校長 氏 名 印

休業における授業の実施等について（届）

休業における授業の実施等について（届）

下記のとおり休業日の変更を行うので届出します。

下記のとおり休業日の変更を行うので届出します。

記

記

- 1 必要とする理由
- 2 期日又は期間
- 3 授業（休業）を必要とする課程、学科及び学年・年次
- 4 その他参考となる事項

- 1 必要とする理由
- 2 期日又は期間
- 3 授業（休業）を必要とする課程、学科及び学年・年次
- 4 その他参考となる事項

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

現 行

改 正 後

第3号様式（第12条関係）

第3号様式（第12条関係）

第 号
年 月 日

第 号
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県立何学校長 氏 名 印

奈良県立何学校長 氏 名 印

臨時休業実施について（届）

臨時休業実施について（届）

下記のとおり臨時休業したので届出します。

下記のとおり臨時休業したので届出します。

記

記

- 1 非常変災その他急迫の事情の具体的事実
- 2 休業した期日又は期間
- 3 前後措置の状況
- 4 その他参考となる事項

- 1 非常変災その他急迫の事情の具体的事実
- 2 休業した期日又は期間
- 3 前後措置の状況
- 4 その他参考となる事項

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

現 行

改 正 後

第4号様式（第16条関係）

第4号様式（第16条関係）

第 号
年 月 日

第 号
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県立何学校長 氏 名 印

奈良県立何学校長 氏 名 印

（学校行事名）実施について（届）

（学校行事名）実施について（届）

下記のとおり実施するので届出します。

下記のとおり実施するので届出します。

記

記

- 1 行事の期日、期間又は日程
- 2 参加児童生徒の課程、学科及び学年・年次又は所属する部等及び人員
- 3 引率又は指導する職員の職氏名
- 4 児童生徒1人当たり経費及びその出途
- 5 その他参考となる事項

- 1 行事の期日、期間又は日程
- 2 参加児童生徒の課程、学科及び学年・年次又は所属する部等及び人員
- 3 引率又は指導する職員の職氏名
- 4 児童生徒1人当たり経費及びその出途
- 5 その他参考となる事項

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

現 行

改 正 後

第5号様式（第18条関係）

第5号様式（第18条関係）

第 号
年 月 日

第 号
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県立何学校長 氏 名 印

奈良県立何学校長 氏 名 印

教材の使用について（申請）

教材の使用について（申請）

下記のとおり使用したいので承認願います。

下記のとおり使用したいので承認願います。

記

記

- 1 教材名及び教科科目名
- 2 当該教材を使用する理由及びその単価
- 3 期間
- 4 使用させようとする課程又は学年等
- 5 その他参考となる事項

- 1 教材名及び教科科目名
- 2 当該教材を使用する理由及びその単価
- 3 期間
- 4 使用させようとする課程又は学年等
- 5 その他参考となる事項

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

現 行

改 正 後

第 6 号様式（第19条関係）

第 6 号様式（第19条関係）

第 号
年 月 日

第 号
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県立何学校長 氏 名 印

奈良県立何学校長 氏 名 印

教材の使用について（届）

教材の使用について（届）

下記のとおり使用したいので届出します。

下記のとおり使用したいので届出します。

記

記

（以下前号の様式に準じます。）

（以下前号の様式に準じます。）

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

現 行

改 正 後

第7号様式（第23条関係）

第7号様式（第23条関係）

第 号
年 月 日

第 号
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県立何学校長 氏 名 印

奈良県立何学校長 氏 名 印

懲戒処分について（報告）

懲戒処分について（報告）

下記のとおり懲戒処分を行ったので報告します。

下記のとおり懲戒処分を行ったので報告します。

記

記

- 1 処分を受けた児童生徒の学年・年次、氏名
- 2 保護者の住所、氏名
- 3 懲戒の種類及び処分の期日又は期間
- 4 処分の理由
- 5 校長の意見

- 1 処分を受けた児童生徒の学年・年次、氏名
- 2 保護者の住所、氏名
- 3 懲戒の種類及び処分の期日又は期間
- 4 処分の理由
- 5 校長の意見

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

現 行

改 正 後

第9号様式（第25条関係）

第9号様式（第25条関係）

第 号
年 月 日

第 号
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県立何学校長 氏 名 印

奈良県立何学校長 氏 名 印

疾病の集団発生について（報告）

疾病の集団発生について（報告）

下記のとおり疾病が集団発生したので報告します。

下記のとおり疾病が集団発生したので報告します。

記

記

- 1 病名及び発病の日
- 2 疾病の発生の原因及びその経過
- 3 患者発生の状況とその患者数
- 4 発病以来の処置及び将来とらうとする処置
- 5 その他参考となる事項

- 1 病名及び発病の日
- 2 疾病の発生の原因及びその経過
- 3 患者発生の状況とその患者数
- 4 発病以来の処置及び将来とらうとする処置
- 5 その他参考となる事項

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

現 行

改 正 後

第10号様式（第26条関係）

第10号様式（第26条関係）

第 号
年 月 日

第 号
年 月 日

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県教育委員会教育長 殿

奈良県立何学校長 氏 名 印

奈良県立何学校長 氏 名 印

児童（生徒）の事故について（報告）

児童（生徒）の事故について（報告）

下記のとおり事故が発生したので報告します。

下記のとおり事故が発生したので報告します。

記

記

- 1 事故のあった児童（生徒）の学年・年次、氏名
- 2 保護者住所、氏名、続柄
- 3 事故の内容及び日時、場所
- 4 原因と状況
- 5 学校のとった処置
- 6 担任教員、職、氏名
- 7 その他参考となる事項

- 1 事故のあった児童（生徒）の学年・年次、氏名
- 2 保護者住所、氏名、続柄
- 3 事故の内容及び日時、場所
- 4 原因と状況
- 5 学校のとった処置
- 6 担任教員、職、氏名
- 7 その他参考となる事項

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

現 行

改 正 後

第11号様式の2（第28条関係）

第11号様式の2（第28条関係）

休 学 願

休 学 願

このたび、次の事由により休学したいので、許可くださるようお願いいたします。

このたび、次の事由により休学したいので、許可くださるようお願いいたします。

科 学年 組
生徒氏名 _____
保護者氏名 _____ (印)

科 学年 組
生徒氏名 _____
保護者氏名 _____ (印)

事 由

事 由

期 間 年 月 日から
年 月 日まで

期 間 年 月 日から
年 月 日まで

年 月 日

年 月 日

奈良県立何学校長 殿

奈良県立何学校長 殿

備考 病気による場合は、医師の診断書を添えること。
用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。

備考 病気による場合は、医師の診断書を添えること。
用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

現 行

改 正 後

第11号様式の3（第28条関係）

第11号様式の3（第28条関係）

復 学 願

復 学 願

このたび、次の理由により復学したいので、許可くださるようお願いいたします。

このたび、次の理由により復学したいので、許可くださるようお願いいたします。

科 学年 組

科 学年 組

生徒氏名 _____

生徒氏名 _____

保護者氏名 _____ (印)

保護者氏名 _____ (印)

理 由

理 由

復学しようとする期日 年 月 日

復学しようとする期日 年 月 日

年 月 日

年 月 日

奈良県立何学校長 殿

奈良県立何学校長 殿

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

現 行

改 正 後

第11号様式の4（第28条の2関係）

第11号様式の4（第28条の2関係）

退 学 願

退 学 願

このたび、次の理由により退学したいので、許可くださるようお願いいたします。

このたび、次の理由により退学したいので、許可くださるようお願いいたします。

科 学年 組

科 学年 組

生徒氏名

生徒氏名

保護者氏名 (印)

保護者氏名 (印)

理 由

理 由

退学しようとする期日 年 月 日

退学しようとする期日 年 月 日

年 月 日

年 月 日

奈良県立何学校長 殿

奈良県立何学校長 殿

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

現 行

改 正 後

第11号様式の5（第28条の3関係）

第11号様式の5（第28条の3関係）

再 入 学 願

再 入 学 願

このたび、次の理由により再入学したいので、許可くださるようお願いいたします。

このたび、次の理由により再入学したいので、許可くださるようお願いいたします。

科 学 年 組

科 学 年 組

生徒氏名 _____

生徒氏名 _____

保護者氏名 _____ (印)

保護者氏名 _____ (印)

理 由

理 由

再入学を希望する学年 第 学年

再入学を希望する学年 第 学年

再入学を希望する期日 年 月 日

再入学を希望する期日 年 月 日

年 月 日

年 月 日

奈良県立何学校長 殿

奈良県立何学校長 殿

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

現 行

改 正 後

第11号様式の6（第28条の4関係）

第11号様式の6（第28条の4関係）

留 学 願

留 学 願

このたび、次の理由により留学したいので、許可くださるようお願いいたします。

このたび、次の理由により留学したいので、許可くださるようお願いいたします。

科 学年 組

科 学年 組

生徒氏名 _____

生徒氏名 _____

保護者氏名 _____ (印)

保護者氏名 _____ (印)

- 1 留学目的
- 2 留学先の国名、高等学校、所在地及び学年
- 3 留学期間 年 月 日から 年 月 日まで
- 4 留学中の寄宿先及びその住所
- 5 その他参考事項（斡旋団体）

- 1 留学目的
- 2 留学先の国名、高等学校、所在地及び学年
- 3 留学期間 年 月 日から 年 月 日まで
- 4 留学中の寄宿先及びその住所
- 5 その他参考事項（斡旋団体）

年 月 日

年 月 日

奈良県立何学校長 殿

奈良県立何学校長 殿

備考 留学先の高等学校の概要を示す書類等を添付すること。
用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。

備考 留学先の高等学校の概要を示す書類等を添付すること。
用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

現 行

改 正 後

第11号様式の7（第28条の7関係）

第11号様式の7（第28条の7関係）

転 籍 願

転 籍 願

このたび、次の理由により転籍したいので、許可くださるようお願いいたします。

このたび、次の理由により転籍したいので、許可くださるようお願いいたします。

科 学年 組

科 学年 組

生徒氏名 _____

生徒氏名 _____

保護者氏名 _____ (印)

保護者氏名 _____ (印)

理 由

理 由

転籍しようとする課程等

転籍しようとする課程等

課程及び学科

課程及び学科

学年

学年

転籍しようとする期日 年 月 日

転籍しようとする期日 年 月 日

年 月 日

年 月 日

奈良県立何学校長 殿

奈良県立何学校長 殿

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

現 行

改 正 後

第12号様式（第30条関係）

第12号様式（第30条関係）

誓 約 書

誓 約 書

奈良県立何学校長 殿

奈良県立何学校長 殿

私は、在学中諸規則を堅く守り学業に専念します。

私は、在学中諸規則を堅く守り学業に専念します。

年 月 日

年 月 日

科第 学年・年次
生徒氏名

科第 学年・年次
生徒氏名

上記の者の身上に関する一切の責任について引受け、在学中に生じた債務について、本人が履行しない場合は、保証人が履行します。

上記の者の身上に関する一切の責任について引き受けます。

年 月 日

年 月 日

保証人 現住所
本人との関係
氏 名

保証人 現住所
本人との関係
氏 名



注 保証人は、親権者又は未成年後見人とします。ただし、生徒が成年者である場合は、この限りではありません。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦型とする。

注 保証人は、親権者又は未成年後見人とします。ただし、生徒が成年者である場合は、この限りではありません。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

現 行

改 正 後

第13号様式（第30条関係）

誓 約 書

奈良県立何学校長殿

生徒氏名

上記の者の在学中に生じた入学科（奈良県立学校における授業料等に関する条例（昭和28年3月奈良県条例第9号）第7条に規定する額）及び授業料（同条例第2条に規定する額）の納付について、本人が履行しない場合は、保証人が履行します。

年 月 日

保証人 現住所
本人との関係
氏 名



注 保証人は、親権者又は未成年後見人としてします。ただし、生徒が成年者である場合は、この限りではありません。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。

二 奈良県立高等学校総合寄宿舎管理運営規則の一部改正（第二条関係）

改正案	現行
<p>（誓約書の提出等） 第九条 入寮を許可された者は、入寮の日までに、その保証人と連署した誓約書（第二号様式及び第二号様式の二）を寮長に提出しなければならない。</p> <p>2 略</p>	<p>（誓約書の提出等） 第九条 入寮を許可された者は、入寮の日までに、その保証人と連署した誓約書（第二号様式）を寮長に提出しなければならない。</p> <p>2 略</p>

現 行

改 正 後

第 2 号様式 (第 9 条関係)

第 2 号様式 (第 9 条関係)

誓 約 書

誓 約 書

奈良県立高等学校総合寄宿舍 寮長殿

奈良県立高等学校総合寄宿舍 寮長殿

在寮中は、諸規則を守り秩序ある共同生活をするを約束します。

在寮中は、諸規則を守り秩序ある共同生活をするを約束します。

年 月 日

年 月 日

在学高等学校名
学科及び学年
氏 名

印

在学高等学校名
学科及び学年
氏 名

印

上記の者の身上に関する一切について引受け、在学中に生じた債務について、
本人が履行しない場合は、私が代って履行します。

上記の者の身上に関する一切の責任について引き受けます。

年 月 日

年 月 日

保証人住所
氏 名

印

保証人住所
氏 名

印

現 行

改 正 後

第2号様式の2 (第9条関係)

誓 約 書

奈良県立高等学校総合寄宿舍 寮長殿

寮生氏名

上記の者の在寮中に生じた使用料（奈良県立高等学校総合寄宿舍条例（昭和56年3月奈良県条例第32号）第4条に規定する額）の納付について、本人が履行しない場合は、保証人が履行します。

年 月 日

保証人住所
氏 名

印